

折尾地区総合整備事業における土地区画整理事業の 事業計画変更(案)について

折尾地区総合整備事業は、折尾地区で抱えていた「鉄道による市街地の分断」や「踏切による交通渋滞」、「古くからの密集市街地の存在」などの課題を総合的に解決するため、平成16年から①鉄道と道路の平面交差を解消する連続立体交差事業、②駅周辺の道路整備を行う街路事業、③駅南側の住環境の改善を行う土地区画整理事業の 3事業を一体的に実施している。

今回、このうち、土地区画整理事業の事業計画変更(案)(事業期間の延伸、事業費増)について報告するもの。

1. 進捗状況

これまで、連続立体交差事業と街路事業を中心に鉄道の高架化や北側駅前広場及び主要な幹線道路を整備することで、折尾駅周辺における交通機能の強化を進めてきた。

また、折尾駅南側の土地区画整理事業では、宅地や幹線道路の整備、建物移転を進めることで、密集市街地の解消などに取り組んできた。

(1) 連続立体交差事業 進捗率 100%(R6 年度末時点)

事業延長:4.5km (筑豊本線:2.4km、鹿児島本線:2.1km)

令和 2 年度 JR 折尾駅 新駅舎開業

令和 3 年度 鉄道全線の高架化完了

令和 6 年度 事業完了

(2) 街路事業 進捗率 約93%(R6 年度末時点)

事業延長:約 3.7 km(北側駅前広場約 9,800 m²含む)

令和 5 年度 北側駅前広場 完成

令和 7 年度 南側駅前広場への幹線道路整備 完了予定

(3) 土地区画整理事業 進捗率 約80%(R6 年度末時点)

事業面積:約 16.9 ha

令和 4 年度 堀川町地区 整備完了

令和 8 年度 南側駅前広場 完成予定

・令和6年度末時点で、事業全体の進捗率は約93%。

2. 事業計画の変更内容

土地区画整理事業について、下記のとおり、事業期間及び事業費の変更を行うもの。

(1) 事業期間

	現状	変更
連立	平成 16 年度～令和 6 年度	—
街路	平成 16 年度～令和 10 年度	—
区画	平成 18 年度～令和 10 年度	平成 18 年度～令和 13 年度 ※

※清算期間 5 年(令和 14 年度～令和 18 年度)を除く

【延伸理由】

- ・建物移転交渉における事前調整の難航
- ・建物移転時期の遅れによる工事期間及び工程の見直し
- ・埋蔵文化財本発掘の実施

(2) 事業費

事業名	現状(A)	変更(B)	差(C=B-A)	増加率(C/A)
連立	501 億円	501 億円	—	—
街路	188 億円	188 億円	—	—
区画	246 億円	306 億円	60 億円	約24%増
合計	935 億円	995 億円	60 億円	約6%増

【増額理由】

- ・人件費及び資材価格の高騰による増額 約 23 億円
- ・仮住居費用等に係る費用の増額 約 20 億円
- ・造成計画(大街区化等)の見直しなどによる増額 約 13 億円
- ・埋蔵文化財調査の追加に伴う増額 約 4 億円

3. 土地区画整理事業における資金計画の変更

(支出)

	前回	今回	増減額
公共施設整備費※1	3,343	3,898	555
移転移設費	13,442	15,493	2,051
宅地整備費等	4,853	7,606	2,753
調査設計費	2,372	2,941	569
事務費等	590	662	72
支出 計	24,600	30,600	6,000

(収入)

(百万円)

	前回	今回	増減額
国補助金	8,261	8,864	603
地方債	11,531	15,403	3,872
その他	2,562	2,912	350
一般財源	2,246	3,421	1,175
収入 計	24,600	30,600	6,000

※内訳については、今後、国との協議等により変更になる可能性あり。

※1 公共施設整備費とは、道路、公園、河川、上下水道の施設整備費である。

4. 今後のスケジュール(予定)

令和7年 11 月13日	常任委員会報告
令和7年 11 月下旬	国協議開始
令和8年 2 月	縦覧公告、事業計画の縦覧(2週間)、意見書の受付(4週間)
令和8年 3 月	国土交通大臣の認可、事業計画変更決定の公告

(参考)

